

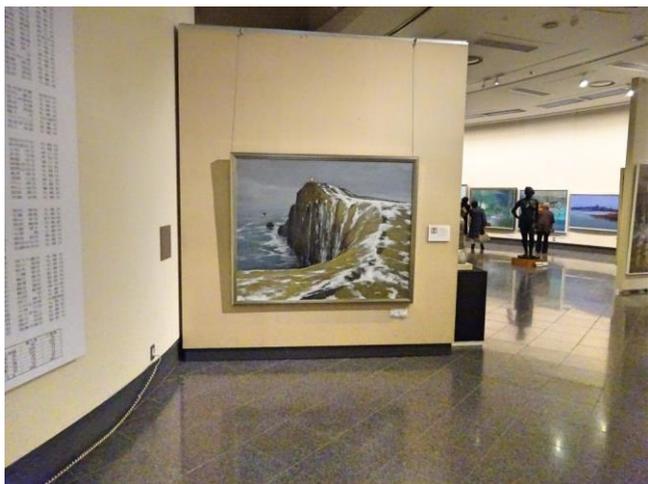
第92回道展第62回釧路移動展事業報告

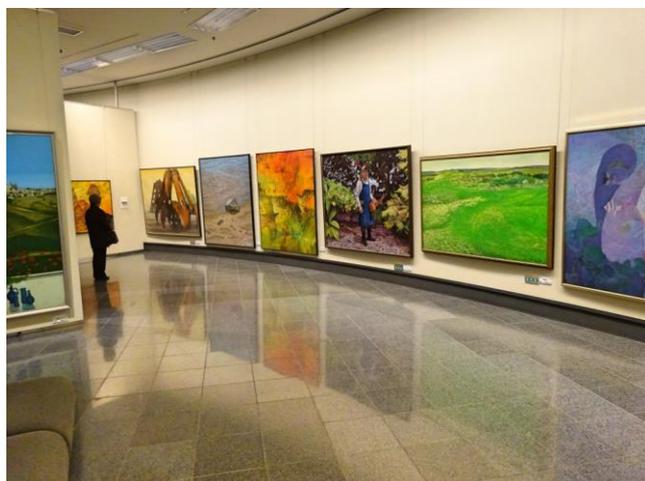
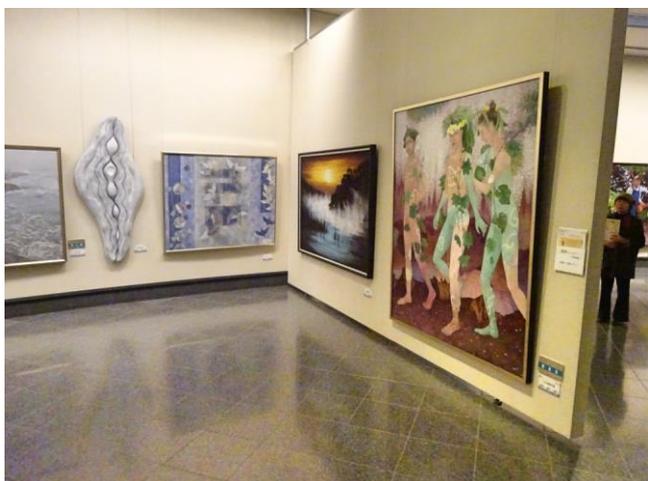
報告者 釧路移動展実行委員事務局長 高橋 潤

会期 平成29年11月21日（火）午前10時～11月26日（日）午後4時

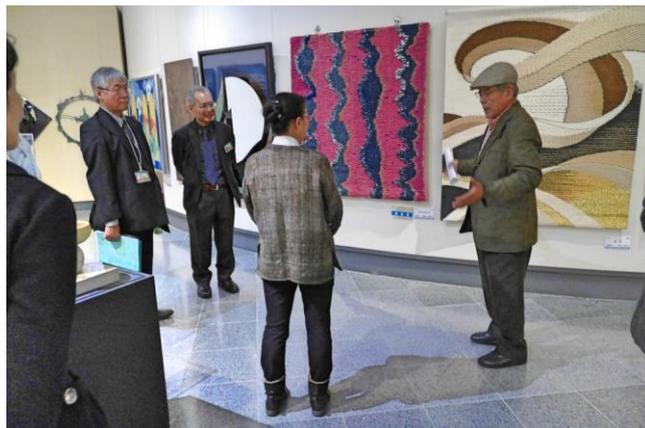
会場 釧路市立美術館 ギャラリーA

会場には巡回作品に釧路からの出品作28点（巡回作品1点を含む）を加えた96点を展示した。市民のみなさんは札幌での道展終了後すぐに釧路で作品に触れることのできる移動展を楽しみにして下さっており、例年1,200人程の来場を頂いているが、今回の道展では地元からの出品者や入選者が増えたことに加えて、油彩部門で磯江泰子さん、瀧澤玲子さん、藤田清志さん、水彩部門で土井上初枝さん、工芸部門で渡邊久美子さんの5名が新会友に推挙されたことや、油彩部門で齋藤和子さん、竹村恭子さんが佳作賞を受賞されるなど、過去例にない多数の受賞が出たことも嬉しい話題となり、近年では過去最高数となる1,538名の来場者を頂いた。特に近年、地元作家のレベルが向上してきているのと、長年の活動が地域に浸透してきており、その反響の高まりを特に感じる。その功労者であり本年2月にご逝去された高橋康夫氏の遺作を会場入口に展示させて頂いた。最終日に行われる作品講評会では講師である八重樫眞一会員、三村克彦会員の他に中吉巧会員も加わって頂き、訪れた方々に楽しい時間を提供することができた。





釧路からの出品作 28 点（巡回作品 1 点を含む）を加えた 96 点を展示。



全体講評して頂いた 八重樫真一会員（油彩会員）、三村克彦会員（水彩会員）と中吉巧会員（油彩会員）
《視聴者数：約50名》